

函館中央病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①研究課題名	PCIT(親子相互交流療法)における自閉スペクトラム症児の言動の変化についての観察研究		
②対象者	函館中央病院小児科およびかとうメンタルクリニックでPCIT(親子相互交流療法)を受けた親子の方。		
③実施予定期間	当院倫理委員会承認日～西暦2024年12月31日 予定		
④実施機関	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 小児科 医療法人社団 かとうメンタルクリニック		
⑤研究代表者	氏名	廣瀬 三恵子	所属 社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 小児科
⑥当院の研究代表者	氏名	廣瀬 三恵子	所属 社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 小児科
⑦使用する検体・データ	診療録情報、DPICS を撮影したビデオデータ		
⑧目的	本研究では、研究用DPICSマニュアル上の子どもの評価項目、および、従来用いてきた子どもの評価項目(CBCL、ECBI、PSI-SFの一部等)を用いて、PCIT前後での自閉スペクトラム症の子どもの言動の肯定的変化を詳細に測定し、PCITが自閉スペクトラム症に与える効果を検討することを目的とします。		
⑨方法	研究用DPICSマニュアルの子どもの評価項目を用いて、PreDPICSおよびPostDPICS場面での自閉スペクトラム症の子どもの言動の肯定的変化を詳細に測定。また、従来用いてきた子どもの評価項目(CBCL、ECBI、PSI-SFの一部等)と親の評価項目(BDI-II、PSI-SF)を用いて、PCIT前後での自閉スペクトラム症の子どもの親の変化についても検討します。本研究では、研究用DPICSマニュアルの評価尺度と従来の評価尺度を組み合わせることで、PCITが自閉スペクトラム症児の言動に与える肯定的な影響をより詳細に分析します。		
⑩倫理審査	函館中央病院倫理委員会		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。		
⑫プライバシー	本研究では、特定の個人を識別することができないものになっています。		
⑬試料・情報の保管及び廃棄	本研究で得られた情報は、研究終了後5年または研究結果発表後3年のいずれか遅い時期に廃棄します。		
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。		
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、研究責任医師までご連絡ください。		
⑯問い合わせ	連絡先	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	電話 0138-52-1231 (代表)
	お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 【当院の相談窓口】 社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 小児科医師 廣瀬 三恵子		

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。